稟　議　書

起案日：2026 年 10 月 29 日

起案部署：総務部　　起案者：【　　】

代表取締役社長　【　　】　殿

件名：AI エージェント活用の実証（OJT 方式）の件

標記の件、下記のとおり実施したく、ご承認をお願いいたします。

記

1. 目的	当社が AI エージェントを業務に活用できるかを判断するための、実証にかかる費用の承認をお願いするものです。座学の研修ではなく、当社の書類を使って社員が実際に手を動かし、使えるかどうかを確かめます。
2. 対象	部署：【　　】　　人数：【　　】名 業務は限定しません。
3. 期間	開始日：【　　年　　月　　日】　　期間：【　　】か月
4. 判断	判断の日：【　　年　　月　　日】 判断する人：【　　】 判断の材料（何を見て決めるか）：【　　】
5. 体制	まとめ役：【　　】 止める人：【　　】（問題があるときに実証を止める）
6. 費用	本体：見積のとおり　【　　】円（【見積書の名称・日付】） AI 利用料：使った分だけ（従量） 月の上限額：【　　】円（当社が決める）
7. 進め方	・ 社内のシステムにはつながない。 ・ AI に出す書類は当社が選び、その写しだけを置く。 ・ AI に入れない情報を、あらかじめ決めておく。 ・ 使った記録を残す。 ・ AI の出した物は、社外に出す前に社員が確かめる。

以上

承認欄

社長	【　　】	【　　】	起案